

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.130

2011年10月24日

発行所 兵庫教育文化研究所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

「第34回兵教組平和教育実践交流集会」開催

「第34回兵教組平和教育実践交流集会」を西宮市において開催し、県内各地より約100名が参加しました。(兵教組ホームページにも記載)

午前、西宮市勤労会館にて実践交流集会をおこない、午後からは、西宮市内3方面で、フィールドワークにとりくみました。主催者からの基調提案に続いて西宮支部、平和教育部会・協力研究所員の山内静代さん(広島平和教育研究所)からの実践報告を受けたあと、平和教育部会・協力研究所員の村上登司文さん(京都教育大学)から指導助言を受け、各地区での交流の場をもちました。

戦争体験を次の世代へ語り継ぎ、史実と真実の探求をとおして平和を守る教育をすすめていくことの大切さを再確認する良い機会となりました。

実践交流集会

- 基調提案 ○実践報告 ○指導助言
- 各地区(支部)交流



フィールドワーク

- 大社小メモリアルホール見学、戦前・戦中教育の体験談を聞く、「火垂るの墓」の舞台を歩く
- 甲陽園地下壕跡巡り、アンネフランク資料室見学(アンネのばらの教会)
- 甲子園歴史館

参加者の感想

- ・今年初めて教師になったということもあり、平和教育についてまだまだ理解しておらず、具体的にとりくむことができていない。今日のようないろいろな先生方の話を聞く機会を設けていただき、本当に勉強になった。子どもたちが平和を希求する心を養えるように、私自身これからも勉強していく必要があるなど強く思った。
- ・本集会に初めて参加した。今の平和教育のとりくみの現状と課題についてとてもよくわかった。地区交流も短時間の中で、とても中身の濃い交流ができた。これからの若い教職員に、平和教育の大切さやこれまでの実践・研究の成果を継承・発展していくために、今自分が何をすべきかを考えさせられた。
- ・いつもと違った先生方と話をしたり、戦争についての学習をしたりと、新鮮な気持ちになる貴重な時間となった。現在6年生の担任で、間もなく戦争について社会科で教えるので、被害の面も加害の面も両面から見つめ、子どもたちに考えさせていく授業をしたいと改めて感じた。